

中項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院

項目 No.	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																	
		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																
01	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護職員修学資金貸付などの支援制度を継続実施する。 ガイダンスへの参加、学校訪問等を積極的に行うとともに、インターネットや新聞などの広報媒体を活用し、職員の募集活動を実施する。 定年を向かえた医師、看護師等のうち、病院経営に寄与すると認められる職員の再雇用を実施する。 大学医局との連携などにより引き続き医師確保に努める。 岐阜大学医学部医学科地域枠や東濃地域医師確保奨学資金等貸付制度などの医学生を、初期研修医として確保に努める。 医師や看護師の業務負担軽減を推進するため、医師事務作業補助者や看護事務補助者などの確保に努める。 医師事務作業補助者について、診療科ごとのフォローアップ体制を充実させることにより、安定した業務の提供をめざし、さらなる医師の負担軽減を推進する。 実務に即した研修体制を充実させ個人の資質向上を図ることで、質の高い業務の提供を目指す。 仕事と家庭を両立させるため、育児部分休業の活用の推進や、院内保育施設での夜間保育・休日保育・病児保育を引き続き実施するとともに、職員のニーズに柔軟に対応できる体制づく 	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 麻酔科医の退職により大幅な減員となったが、大学医局との連携や代務医の招聘、医師の幹旋会社の活用により必要な医師の確保に努めた。 看護師とその他のコメディカルについては、ガイダンスでの募集活動、学校訪問、地元紙・地域情報誌への求人広告掲載、ホームページでの募集活動、インターネットの求人サイトの活用、就職準備資金等の支援制度により、医療従事者の充実を行った。引き続き医師、看護師の必要数確保が課題である。(●) <p>【医療従事者数】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>124</td> <td>118</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>463</td> <td>474</td> <td>472</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>149</td> <td>154</td> <td>167</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度末時点</p>	区分\年度	H27	H28	H29	医師	124	118	123	看護師・助産師	463	474	472	コメディカル	149	154	167	IV		<p>麻酔科医確保に向けた取組は評価できる。引き続き、医療従事者の必要数確保に期待する。</p>
区分\年度	H27	H28	H29																		
医師	124	118	123																		
看護師・助産師	463	474	472																		
コメディカル	149	154	167																		

項目 No.	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																					
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																				
	<p>りに努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、新中央診療棟整備事業にともない、院内保育施設移転改築計画の設計を進め、院内保育運営の充実を図る。 																																								
02	<p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者待ち時間調査を実施し、現状分析による改善策を立案する。 ・連携予約検査枠の拡大を行うとともに、中央放射線部職員も開業医の訪問活動に同行し、より効果的な広報を行い、高度医療機器利用率の向上を図る。 ・Web 検査予約サービスの導入検討を行い、簡単に検査予約できる体制を整え、多くの検査依頼を受け入れる。 ・開業医への訪問活動範囲を広げ、具体的なニーズを把握し患者へのサービス増進に取り組む。 ・当院と開業医との連携体制、役割分担等を患者へ分かりやすく広報する。 ・よろず相談・かかりつけ医紹介センターを積極的に活用しながら、逆紹介を推進する。 ・手術待ちの改善に向けて、継続して手術枠の効率的な運用を検討する。 <p>2 院内環境の快適性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内の施設や設備について、新中央診療棟の建設を見据えた維持管理に努める。特に老朽化した空調配管等についての改修を行い、快適な院内環境を推進する。 ・意見箱に寄せられた施設に関する意見については、内容を精査のうえ、順次対応する。 ・治療効果を高め、より快適な入院生活を送ることができるよう、より良い食事の提供を目指していく。 ・化学療法の副作用や機能低下などで喫食量が低下した患者へ、早期に介入し喫食量増加を目指す。特別食喫食者の栄養指導も含め、栄養管理を継続的に行っていく。 ・栄養不良が疑われる患者に対し、NSTの介入で早期改善を目指す。 	<p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央放射線及び生理検査について9～12月の4ヶ月間、待ち時間調査を実施した。全体的に予約枠内で遅滞なく検査が実施されており病院全体の平均待ち時間は17分と前年を下回る結果となった。 ・非常勤放射線技師を午後医療連携業務に専従させて、連携業務や医療機関訪問活動を重点的に実施した結果、CTやMRIといった高度医療機器利用件数が増加した。 ・午前の手術枠を4枠から6枠に増やしたことで、手術件数が前年比で119件増加した。 <p>【平均待ち時間】 単位：分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>22</td> <td>20</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>※待ち時間は両院全体の時間</p> <p>【CT、MRI検査件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT件数</td> <td>29,355</td> <td>29,516</td> <td>32,872</td> </tr> <tr> <td>MRI件数</td> <td>9,862</td> <td>9,833</td> <td>10,208</td> </tr> </tbody> </table> <p>【手術件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術室</td> <td>4,969</td> <td>4,814</td> <td>4,933</td> </tr> <tr> <td>中放内視鏡</td> <td>2,512</td> <td>2,471</td> <td>2,778</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,481</td> <td>7,284</td> <td>7,711</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 院内環境の快適性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した東病棟の空調設備（エアハンドリング）修繕工事については、平成28年度から5ヵ年計画で実施している。平成29年度は、2階部分の設備を更新し、院内環境の快適性を向上させた。 ・治療効果を高めるため、食事制限などのある患者の食事相談や指導をした。また、喫食量の低下した患者や低栄養の患者に対し、NSTが早期に介入し、多職種協同で栄養管理を行い、早期改善に努めた。毎食の 		H27	H28	H29		22	20	17	区分\年度	H27	H28	H29	CT件数	29,355	29,516	32,872	MRI件数	9,862	9,833	10,208	区分\年度	H27	H28	H29	手術室	4,969	4,814	4,933	中放内視鏡	2,512	2,471	2,778	合計	7,481	7,284	7,711	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV</p> <p>待ち時間の短縮や、栄養管理件数の増加等患者サービスの向上について評価できる。</p> <p>IIIのまま</p> <p>概ね年度計画どおり実施している。</p>	<p>「IV」</p> <p>待ち時間の短縮や、栄養管理件数の増加等患者サービスの向上について評価できる。</p>
	H27	H28	H29																																						
	22	20	17																																						
区分\年度	H27	H28	H29																																						
CT件数	29,355	29,516	32,872																																						
MRI件数	9,862	9,833	10,208																																						
区分\年度	H27	H28	H29																																						
手術室	4,969	4,814	4,933																																						
中放内視鏡	2,512	2,471	2,778																																						
合計	7,481	7,284	7,711																																						

項目 No.	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																					
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																				
	<p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療情報に関する相談について、相談しやすい体制の充実を図るため、引き続き地域医療連携センター内の医療連携担当と医療相談担当が、定期的に情報交換会を開催し、相互の情報共有と問題点の洗い出しを行う。 ・患者やその家族からの医療に関する様々な相談に対し、よろず相談・かかりつけ医紹介センターを活用して、迅速に対応する。 ・岐阜県ソーシャルワーカー協会東濃支部研修会（情報交換会）を継続していくとともに、この研修会で得られた情報を患者や家族の医療相談に活用する。 ・緩和ケア病棟や精神科病棟を担当する相談員に対して、各種研修会の受講を促進し、知識と技能の強化を図りながら、より良いケアの提供を目指すとともに、転院調整や各種相談業務への対応を強化する。 ・がん患者サロンを活用し、がん患者及びその家族に対し相談を行う。 	<p>残食調査、2ヶ月ごとの嗜好調査を実施し、献立・食材の変更、職員教育の徹底等の見直しに取り組んだ。その結果、嗜好調査で「満足・やや満足」と回答する割合が、年度当初の42%から年度末56%と1年間で14ポイント上昇した。</p> <p>【喫食量の低下・低栄養患者への取り組み】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄養指導</td> <td>4,552</td> <td>5,164</td> <td>5,113</td> </tr> <tr> <td>栄養管理</td> <td>2,017</td> <td>1,044</td> <td>2,140</td> </tr> <tr> <td>NST介入</td> <td>433</td> <td>430</td> <td>442</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者やその家族からの医療費支払いに関する各種福祉制度の活用や転院相談等の医療情報に関する医療相談の他に、受診診療科や病気などの様々な相談に対し、よろず相談・かかりつけ医紹介センターなどを活用した丁寧な相談体制で対応ができた。 ・地域の医療機関を検索できるシステムを構築し、専用の端末をよろず相談・かかりつけ医紹介センターに配置した。退院後の連携先医療機関に対する相談体制を拡充した。 ・岐阜県ソーシャルワーカー協会東濃支部主催の研修会（年6回開催）や、国立がん研修センター等の主催する研修会に参加し相談員のスキルアップを図った。特に平成29年度は、がん相談関連の研修に積極的に参加した。 <p>【よろず相談・かかりつけ医紹介件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かかりつけ医への紹介</td> <td>251</td> <td>322</td> <td>423</td> </tr> <tr> <td>よろず相談</td> <td>1,480</td> <td>1,129</td> <td>1,434</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医療相談件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談件数</td> <td>12,303</td> <td>14,597</td> <td>15,969</td> </tr> <tr> <td>がん患者サロン（ほっとサロン）相談件数</td> <td>99</td> <td>55</td> <td>58</td> </tr> </tbody> </table> <p>【カルテ開示請求件数・開示件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>64</td> <td>57</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>62</td> <td>42</td> <td>57</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H27	H28	H29	栄養指導	4,552	5,164	5,113	栄養管理	2,017	1,044	2,140	NST介入	433	430	442	項目\年度	H27	H28	H29	かかりつけ医への紹介	251	322	423	よろず相談	1,480	1,129	1,434	項目\年度	H27	H28	H29	医療相談件数	12,303	14,597	15,969	がん患者サロン（ほっとサロン）相談件数	99	55	58	項目\年度	H27	H28	H29	請求件数	64	57	61	開示件数	62	42	57			
項目\年度	H27	H28	H29																																																						
栄養指導	4,552	5,164	5,113																																																						
栄養管理	2,017	1,044	2,140																																																						
NST介入	433	430	442																																																						
項目\年度	H27	H28	H29																																																						
かかりつけ医への紹介	251	322	423																																																						
よろず相談	1,480	1,129	1,434																																																						
項目\年度	H27	H28	H29																																																						
医療相談件数	12,303	14,597	15,969																																																						
がん患者サロン（ほっとサロン）相談件数	99	55	58																																																						
項目\年度	H27	H28	H29																																																						
請求件数	64	57	61																																																						
開示件数	62	42	57																																																						

項目 No.	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																													
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																												
	<p>4 患者中心の医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者サポート体制カンファレンスを継続して実施し、患者からの要望等を把握・分析し、患者の権利の保障に努める。 ・患者図書室について、外来や医療連携室などとの連携を進め、患者への情報提供の拡充を図る。 <p>5 インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治療に必要な情報を患者が理解できる言葉で、提供、説明し、患者自らの判断で治療方針等を選択できるようインフォームドコンセントを徹底する。 ・インフォームドコンセントにおける同意書と説明書の見直し及び電子カルテへの対応を進める。 ・セカンドオピニオンについては、院内や病院のホームページに掲示し、相談者からの申し出には、医療連携室を窓口として、相談件数の増加を図る。また、がんの種類別に医師を選任し、相談に応じる。 <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、地域住民のニーズを把握する。 	<p>4 患者中心の医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者サポート体制カンファレンスを毎週1回開催し、医療相談、クレーム事例などから患者の意見・要望を把握し、医療安全活動と合わせ、患者の権利の保障について検討した。また、インシデント事例から、今後フォローが必要になりそうな患者について情報共有を行った。 ・患者図書室については、患者からの要望に応え、昼休みの開館、開館時間の延長、病棟への巡回図書サービスを開始等に取り組み、利便性を高めた。 <p>【患者図書室利用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数 (単位：人)</td> <td>10,552</td> <td>9,830</td> <td>8,836</td> </tr> <tr> <td>稼働日数 (単位：日)</td> <td>242</td> <td>242</td> <td>243</td> </tr> <tr> <td>1日平均 (単位：日)</td> <td>43.6</td> <td>40.6</td> <td>36.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテ内のインフォームド・コンセントにおける同意書と説明書の見直しを行い、旧様式から新様式への編集・移行作業を完了させた。よりの確なインフォームド・コンセントを実施できる体制を整えた。 ・セカンドオピニオンについては、受診希望者に対し、医療連携室が窓口となり一元的に対応し、引き続き迅速な予約体制を維持した。 <p>【セカンドオピニオン実施件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>20</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>70</td> <td>61</td> <td>76</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、病院施設の整備（新中央診療棟、立体駐車場、保育所建設）、がん放射線治療装置の拡充整備、地域医療連携の取り組み等をテーマに意見交換を行った。 ・患者サービスに努めた結果、日本病院会「Q I プロジェクト」での患者満足度調査では、全国Q I プロジェクト参加病院の中では高い満足度を得ることができ 	区分\年度	H27	H28	H29	利用者数 (単位：人)	10,552	9,830	8,836	稼働日数 (単位：日)	242	242	243	1日平均 (単位：日)	43.6	40.6	36.4	区分\年度	H27	H28	H29	外来受入	20	6	5	他院紹介	70	61	76			
区分\年度	H27	H28	H29																														
利用者数 (単位：人)	10,552	9,830	8,836																														
稼働日数 (単位：日)	242	242	243																														
1日平均 (単位：日)	43.6	40.6	36.4																														
区分\年度	H27	H28	H29																														
外来受入	20	6	5																														
他院紹介	70	61	76																														

項目 No.	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																										
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																									
		<p>た。</p> <p>【満足度調査の比較】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目 \ 年度</th> <th colspan="3">満足度</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">入院</td> <td>当院</td> <td>95.6</td> <td>98.1</td> <td>95.5</td> </tr> <tr> <td>QIプロジェクト 参加病院 (平均値)</td> <td>89.3</td> <td>89.1</td> <td>89.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外来</td> <td>当院</td> <td>87.2</td> <td>87.7</td> <td>87.2</td> </tr> <tr> <td>QIプロジェクト参加 病院 (平均値)</td> <td>81.7</td> <td>83.0</td> <td>82.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ QIプロジェクトデータを全て引用</p>	項目 \ 年度	満足度			H27	H28	H29	入院	当院	95.6	98.1	95.5	QIプロジェクト 参加病院 (平均値)	89.3	89.1	89.9	外来	当院	87.2	87.7	87.2	QIプロジェクト参加 病院 (平均値)	81.7	83.0	82.5			
項目 \ 年度	満足度																													
	H27	H28	H29																											
入院	当院	95.6	98.1	95.5																										
	QIプロジェクト 参加病院 (平均値)	89.3	89.1	89.9																										
外来	当院	87.2	87.7	87.2																										
	QIプロジェクト参加 病院 (平均値)	81.7	83.0	82.5																										
03	<p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き再雇用制度等を基に、必要な職員の確保に努める。 ・定年を迎えた職員のうち、質の高い医療の提供に寄与すると認められる医療従事者の再雇用に充実する。 	<p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再雇用制度を活用し、定年を迎えた高い専門性を有する職員を再雇用し、安定的な診療体制の充実を図った。(看護師・准看護師 12 名、診療放射線技師 2 名、事務職員 2 名) ・看護師の業務負担軽減のため、新たに介護福祉士 14 名とヘルパー 5 名を採用し、病棟に配置した。 	IV		<p>新たに介護福祉士とヘルパーを採用し、看護師業務負担軽減を試みている点は評価できる。今後、運用効果の検証に期待する。</p>																									
04	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療構想をふまえた病病連携の推進を図るため、定期的に東濃・可児地域病病連携推進会議を開催する。 ・当院が急性期病院であることを地域の医療機関や住民に周知することにより、地域医療支援病院の指定に必要な紹介率・逆紹介率の確保を目指す。 ・かかりつけ医紹介センター及び多治見シャトル (病診連携システム) を効果的に活用し、開業医との連携を深める。 ・外来待ち合いスペースに設置してある「医療連携登録医情報コーナー」を活用し、登録医の情報を提供するとともに、登録医等への訪問活動を継続的に実施する。 	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療機関向けの講演会や、市民向けの健康づくり講座、医療連携交流会を通じて、近隣病院との役割分担の明確化と連携強化を図った。 ・また、多治見シャトル (かかりつけ医へ患者の診療予定日をお知らせする仕組み) については、訪問活動時等における PR 活動により、利用件数が増加した。 ・さらに、地域の医療機関を検索できるシステムを構築し、よろず相談・かかりつけ紹介センターに専用の端末を設置した。患者が地域の登録医を手軽に検索できるよう利便性を向上させた。これらの取り組みにより、患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持することができ、地域医療支援病院としての要件を満たした。 <p>【多治見シャトル利用】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>702</td> <td>1,082</td> <td>1,626</td> </tr> </tbody> </table> <p>【紹介患者のうち医療連携予約の割合】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>58.8</td> <td>61.2</td> <td>63.7</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	H29	702	1,082	1,626	H27	H28	H29	58.8	61.2	63.7	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV</p> <p>多治見シャトルの運用件数の大幅な増加は評価できる。今後も取組の継続及び連携強化に期待する。</p> <p>IIIのまま</p> <p>概ね年度計画どおり実施している。</p>	<p>「IV」</p> <p>多治見シャトルの運用件数の大幅な増加は評価できる。今後も取組の継続及び連携強化に期待する。</p>													
H27	H28	H29																												
702	1,082	1,626																												
H27	H28	H29																												
58.8	61.2	63.7																												

項目 No.	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																																												
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																												
		<p>【紹介率・逆紹介率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率 (単位: %)</td> <td>65.7</td> <td>75.7</td> <td>76.2</td> </tr> <tr> <td>紹介案件数 (単位: 件)</td> <td>22,506</td> <td>22,553</td> <td>22,651</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (単位: %)</td> <td>77.3</td> <td>86.2</td> <td>88.0</td> </tr> <tr> <td>逆紹介案件数 (単位: 件)</td> <td>17,796</td> <td>17,325</td> <td>17,437</td> </tr> </tbody> </table> <p>【高度医療機器利用状況】 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C T</td> <td>762</td> <td>887</td> <td>924</td> </tr> <tr> <td>M R I</td> <td>628</td> <td>580</td> <td>666</td> </tr> <tr> <td>R I</td> <td>137</td> <td>128</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>P E T</td> <td>60</td> <td>57</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>骨密度</td> <td>46</td> <td>63</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,633</td> <td>1,715</td> <td>1,842</td> </tr> </tbody> </table> <p>【開放型病床利用】 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医科</td> <td>13</td> <td>21</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>26</td> <td>22</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	H29	紹介率 (単位: %)	65.7	75.7	76.2	紹介案件数 (単位: 件)	22,506	22,553	22,651	逆紹介率 (単位: %)	77.3	86.2	88.0	逆紹介案件数 (単位: 件)	17,796	17,325	17,437	機器名\年度	H27	H28	H29	C T	762	887	924	M R I	628	580	666	R I	137	128	128	P E T	60	57	58	骨密度	46	63	66	合 計	1,633	1,715	1,842	区分\年度	H27	H28	H29	医科	13	21	50	歯科	26	22	24			
区分\年度	H27	H28	H29																																																														
紹介率 (単位: %)	65.7	75.7	76.2																																																														
紹介案件数 (単位: 件)	22,506	22,553	22,651																																																														
逆紹介率 (単位: %)	77.3	86.2	88.0																																																														
逆紹介案件数 (単位: 件)	17,796	17,325	17,437																																																														
機器名\年度	H27	H28	H29																																																														
C T	762	887	924																																																														
M R I	628	580	666																																																														
R I	137	128	128																																																														
P E T	60	57	58																																																														
骨密度	46	63	66																																																														
合 計	1,633	1,715	1,842																																																														
区分\年度	H27	H28	H29																																																														
医科	13	21	50																																																														
歯科	26	22	24																																																														
05	<p>2 周産期医療</p> <p>・地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠や分娩に対し、24時間対応出来る体制を継続する。また、現在の診療体制を維持、充実させるために、今後も継続して医師、助産師の確保、増員に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東濃地域の地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠や分娩に対し、24時間対応できる体制を維持確保した。現在の診療体制を維持、充実させるために継続して医師、助産師の確保、増員に努めた結果、産婦人科医が1名増加し、7名体制となった。また新たに助産師3名を採用した。 ・ 周産期母子医療センター長 (医師) が、長年の母子保健活動の功労として公益財団法人母子衛生研究会の「母子保健奨励賞」を受賞した。(岐阜県内では8人目の受賞) <p>【周産期母子医療センターの主な実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分娩件数 (単位: 件)</td> <td>492</td> <td>528</td> <td>533</td> </tr> <tr> <td>新生児数 (単位: 人)</td> <td>534</td> <td>563</td> <td>563</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">年間入院者数</td> <td>NICU (単位: 人)</td> <td>264</td> <td>254</td> <td>219</td> </tr> <tr> <td>GCU (単位: 人)</td> <td>461</td> <td>449</td> <td>444</td> </tr> <tr> <td>産科 (単位: 人)</td> <td>575</td> <td>674</td> <td>719</td> </tr> <tr> <td>母胎搬送件数 (単位: 件)</td> <td>79</td> <td>92</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>新生児搬送件数 (単位: 件)</td> <td>84</td> <td>60</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	H29	分娩件数 (単位: 件)	492	528	533	新生児数 (単位: 人)	534	563	563	年間入院者数	NICU (単位: 人)	264	254	219	GCU (単位: 人)	461	449	444	産科 (単位: 人)	575	674	719	母胎搬送件数 (単位: 件)	79	92	95	新生児搬送件数 (単位: 件)	84	60	52	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV</p> <p>医師及び助産師の増員により診療体制の充実を図り、地域周産期母子医療センターとしての役割を果たしていることは評価できる。</p> <p>IIIのまま</p> <p>概ね年度計画どおり実施している。</p>	<p>「IV」</p> <p>医師及び助産師の増員により診療体制の充実を図り、地域周産期母子医療センターとしての役割を果たしていることは評価できる。</p>																											
区分\年度	H27	H28	H29																																																														
分娩件数 (単位: 件)	492	528	533																																																														
新生児数 (単位: 人)	534	563	563																																																														
年間入院者数	NICU (単位: 人)	264	254	219																																																													
	GCU (単位: 人)	461	449	444																																																													
	産科 (単位: 人)	575	674	719																																																													
母胎搬送件数 (単位: 件)	79	92	95																																																														
新生児搬送件数 (単位: 件)	84	60	52																																																														

項目 No.	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																				
11	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体、医師会等の社会的な要請に応じ、医療に関する鑑定・調査及び講師派遣を行う。 ・また、自治体等で開催される各種イベントでの救急患者対応等の協力を行う。 ・医療系専門学校、大学、企業、地域や介護老人福祉施設などの要請に応じ、講師の派遣などを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療系専門学校、大学、企業、地域、近隣の病院や施設等の要請に応じ、医師、認定看護師や専門看護師、コメディカルを講師として派遣した。 ・また、医療に関する鑑定調査（精神医療審査会、警察の死体検案等）、地域イベント（陶器まつり、茶碗まつりの救護班）に協力した。 ・臓器移植法に基づき県内初の十五歳未満の患者に対する臓器摘出手術を実施した。 <p>【講師等派遣の状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>171</td> <td>188</td> <td>222</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>32</td> <td>33</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>23</td> <td>18</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>226</td> <td>239</td> <td>318</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	H29	医師	171	188	222	看護師	32	33	64	コメディカル	23	18	32	合計	226	239	318	IV		医療従事者の講師派遣件数の増加は評価できる。
区分\年度	H27	H28	H29																						
医師	171	188	222																						
看護師	32	33	64																						
コメディカル	23	18	32																						
合計	226	239	318																						
14	<p>1 DMATの質の向上と維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（厚生労働省）、中部地区、県などが関係する訓練等に積極的に参加し、引き続き隊員の質の維持と向上に努める。 ・引き続き、県病院協会等との災害協力体制の構築を進める。 <p>2 大規模災害発生時のDMATの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時にも迅速に対応できるDMAT 2 チーム体制を維持していく。 ・大規模災害時において精神医療活動を行う災害派遣精神医療チーム（DPAT：Disaster Psychiatric Assistance Team）に、精神科医の要請があれば常に派遣できる体制をとる。 	<p>1 DMATの質の向上と維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（厚生労働省）、中部地区、県などが関係する訓練に積極的に参加し、質の維持と向上を図った。 <p>【主なDMAT活動訓練等実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施期間</th> <th>訓練内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29. 7. 29</td> <td>大規模地震時医療活動訓練</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>H29. 10. 8 H29. 10. 9</td> <td>中部ブロックDMAT実働訓練</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>H29. 11. 18</td> <td>緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 大規模災害発生時のDMATの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DMATについては、2チームを編成し、災害派遣精神医療チーム（DPAT：Disaster Psychiatric Assistance Team）については、医師2名を指定するとともに1チームを編成して応援体制を維持した。 	実施期間	訓練内容	参加人数	H29. 7. 29	大規模地震時医療活動訓練	9	H29. 10. 8 H29. 10. 9	中部ブロックDMAT実働訓練	9	H29. 11. 18	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練	4	III	<p>「評価の検討」</p> <p>III→IV</p> <p>訓練への参加や派遣に備えた体制の維持など、年度計画を上回っている。</p> <p>IIIのまま</p> <p>DMATの質の向上や、派遣に備えたチーム体制の維持について努力しており、概ね年度計画どおり実施している。</p>	<p>「III」</p> <p>DMATの質の向上や、派遣に備えたチーム体制の維持について努力が伺える。</p>								
実施期間	訓練内容	参加人数																							
H29. 7. 29	大規模地震時医療活動訓練	9																							
H29. 10. 8 H29. 10. 9	中部ブロックDMAT実働訓練	9																							
H29. 11. 18	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練	4																							
17	<p>2 各種業務のIT化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員向けのIT研修を実施し、各種業務のIT化に順応できるよう個々の職員のスキルアップを図る。 ・医療総合情報システムなどの各種端末の見直しや、ネットワークの合理化とセキュリティの向 	<p>2 各種業務のIT化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Microsoft Office や携帯情報端末などのIT研修会を年7回実施し、職員のスキルアップを促進した。 ・スマートPDA（看護業務支援携帯端末）にカメラ機能を追加し、撮影画像を医療総合情報システム（電子カルテ）へ転送できるよう看護師の業務軽減を行っ 	III		<p>患者給食業務委託内容の見直しにより、管理栄養士の食材管理業務が軽減され、患者への栄養管理の充実、件数倍増につながったことは評価できる。</p> <p>また、医療総合情報システム（電子カルテ）の再構築に期待する。</p>																				

項目 No.	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)
	<p>上を図るなどのIT環境整備を進める。</p> <p>3 アウトソーシング導入などによる合理化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトソーシングを導入している物流管理システム (SPD) は、材料消費データの精緻化を行うとともに、使用データなどの分析を行い、業務精度の向上を図る。 ・給食業務委託において、食材購入を含めた単価契約方式の導入をし、効率化及び費用削減、事務業務負担軽減による栄養食事指導等の体制強化を進める。 ・各種業務の合理化を目的に、アウトソーシングの導入又は見直しを検討し、業務のスリム化を図る。 	<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療総合情報システム (電子カルテ) については、稼働後 14 年間で計画期間として再構築することとし、電子カルテ本体の更新とともに各部門システムを包括した設計を行った。平成 30 年 2 月には、提案型プロポーザルにより更新契約の業者を選定し、平成 30 年度中のシステム構築、平成 31 年 5 月の本格稼働に向け、計画的に準備を進めた。【再掲：No.01】 <p>3 アウトソーシング導入などによる合理化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者給食業務委託において、食材購入を含めた単価契約方式を導入したことにより、管理栄養士の食材管理に関する業務負担が軽減し、栄養管理及び栄養指導業務を充実させることができた。特に栄養管理は介入件数が倍増した。 <p>栄養管理件数 (28 年度：1,044 件、29 年度：2,140 件) 栄養指導件数 (28 年度：5,164 件、29 年度：5,113 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事給与システム保守点検業務委託、患者給食業務委託を委託業務評価の対象とし、業務が契約内容に基づき適切に実施されているかを検証し、改善や意識向上を図った。 <p>※平成 27 年度に委託業務評価に関する実施要領を制定し、業務委託契約の内容を点検、評価している。各委託業者自己評価に基づき内容を検証し、次年度以降の改善・向上に寄与している。</p>			
19	<p>1 人事評価システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本格実施した人事評価制度のさらなる見直しを行い、目標管理、職員の人材育成、人事管理・処遇に活用する。 	<p>1 人事評価システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院全体の重点項目及び数値目標に対し、職員個人・部門組織等で目標を設定し、その貢献度により手当を支給する業務貢献手当を新設した。 ・業務貢献手当の支給決定には、人事評価の仕組みを活用する等、人事評価結果と業務貢献手当支給を関連付けし、職員個人・部門組織等の業務目標に対する達成意欲の向上を促し、病院全体の重点項目及び数値目標の達成を実現できる仕組みを整えた。 	IV		<p>業務貢献手当の新設等、本格実施した人事評価制度のさらなる見直しを行っており、評価できる。今後、運用結果の検証に期待する。</p>

項目 No.	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証(案)
20	<ul style="list-style-type: none"> ・プロパー職員の採用を計画的に進めるとともに、病院経営等に精通した外部人材の確保（経験者採用）に引き続き取り組む。 ・新規採用職員研修を始めとし、事務職員としての総合的な資質を高めつつ、専門性の向上を図る。 ・診療情報の分析、活用による経営企画能力の向上のため、職員の診療情報管理士資格の取得を支援する。 ・業務委託となっているDPCコーディング業務については、職員自ら行う検証に向けた体制づくりと能力向上に努める。 	事務部門の専門性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務部門の専門・階層別研修に関する方針・計画を作成し、外部講師等を活用した研修を実施し、職員の資質向上を図った。また平成29年度から新たに階層別マネジメント研修として、管理職員及びチーフ級職員を対象とした研修を実施した。 ・ 民間経験者特別研修、会計実務研修を実施した。 ・ 新任の主査チーフが、中堅職員向けの公開講座に参加した。 【新規採用職員の主な研修】 <ul style="list-style-type: none"> ①マナー・コミュニケーション研修 ②ワークショップ研修～配属からこれまでを振り返って 【階層別マネジメント研修】 <ul style="list-style-type: none"> ＜管理職員及びチーフ級職員＞ 対象者数：30人（うち事務職員10人） 内 容：個人及びグループワーク テ ー マ：全員の知恵と力を合わせるリーダーシップを考える ＜チーフ級職員＞ 対象者数：34人（うち事務職員11人） 内 容：個人及びグループワーク テ ー マ：タイプ別コミュニケーション、メンバー育成ほか 【民間経験者特別研修】 <ul style="list-style-type: none"> 対象者数：6人 内 容：個人及びグループワーク テ ー マ：入職後から現在までの振り返り、今後のキャリアデザイン 【会計実務研修】 <ul style="list-style-type: none"> 対象者数：17人 内 容：講義 テ ー マ：会計書類作成の流れや注意点 【公開講座】 <ul style="list-style-type: none"> ＜新任の主査チーフ＞ 対象者数：2人 テ ー マ：中堅職員研修～管理職を補佐し、部の成果を出す！ 	IV		階層別マネジメント研修の導入は評価できる。今後の結果に期待する。

項目 No.	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																
24	<p>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在院日数、患者数等について定期的に分析、報告するとともに、病診連携などによる退院調整を促進し、適正な在院日数を維持しつつ、医療の質向上をふまえた入院単価の向上を図る。 ・施設基準の内容について精査を進め、算定項目の早期届出に努めるとともに、収益の向上のための情報収集、検証を進める。 ・高度医療機器の共同利用促進については、継続的に検査情報を提供しながらPRを進めるほか、Web検査予約サービスの導入を検討する。 	<p>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DPCデータを基にした分析システムを活用し、病院の現状を明確化することにより診療報酬に直接関係のあるDPC機能評価係数を上げることができ、経営向上、医療の質向上を図った。 <p>※DPC機能評価係数Ⅱ</p> <p>H27 年度係数 0.0643 H28 年度係数 0.0758 H29 年度係数 0.0762</p> <p>【病床管理状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規入院患者 (単位:人)</td> <td>13,984</td> <td>13,886</td> <td>14,498</td> </tr> <tr> <td>延入院患者 (単位:人)</td> <td>171,656</td> <td>172,398</td> <td>176,770</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数 (単位:日)</td> <td>全体 11.3 一般 10.6</td> <td>全体 11.4 一般 10.8</td> <td>全体 11.2 一般 10.6</td> </tr> <tr> <td>一人当たり入院単価 (単位:円)</td> <td>全体 63,511 一般 66,210</td> <td>全体 65,152 一般 67,672</td> <td>全体 66,161 一般 68,689</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一日当たり外来患者数 (単位:人)</td> <td>1,191</td> <td>1,119</td> <td>1,115</td> </tr> <tr> <td>一人当たり外来単価 (単位:円)</td> <td>15,963</td> <td>16,990</td> <td>17,575</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H27	H28	H29	新規入院患者 (単位:人)	13,984	13,886	14,498	延入院患者 (単位:人)	171,656	172,398	176,770	平均在院日数 (単位:日)	全体 11.3 一般 10.6	全体 11.4 一般 10.8	全体 11.2 一般 10.6	一人当たり入院単価 (単位:円)	全体 63,511 一般 66,210	全体 65,152 一般 67,672	全体 66,161 一般 68,689	項目\年度	H27	H28	H29	一日当たり外来患者数 (単位:人)	1,191	1,119	1,115	一人当たり外来単価 (単位:円)	15,963	16,990	17,575	Ⅲ	<p>評価の検討</p> <p>Ⅲ→Ⅳ</p> <p>DPC機能評価係数Ⅱ、新規入院患者の確保など評価できる。</p> <p>Ⅲのまま</p> <p>概ね年度計画どおり実施している。</p>	<p>「Ⅳ」</p> <p>DPC機能評価係数Ⅱ、新規入院患者の確保など評価できる。</p>
項目\年度	H27	H28	H29																																		
新規入院患者 (単位:人)	13,984	13,886	14,498																																		
延入院患者 (単位:人)	171,656	172,398	176,770																																		
平均在院日数 (単位:日)	全体 11.3 一般 10.6	全体 11.4 一般 10.8	全体 11.2 一般 10.6																																		
一人当たり入院単価 (単位:円)	全体 63,511 一般 66,210	全体 65,152 一般 67,672	全体 66,161 一般 68,689																																		
項目\年度	H27	H28	H29																																		
一日当たり外来患者数 (単位:人)	1,191	1,119	1,115																																		
一人当たり外来単価 (単位:円)	15,963	16,990	17,575																																		
26	<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を効果的に進めるなどして、経常収支比率100%以上、医業収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医業収益の増と経費節減などの努力によって、経常収支比率102.0%となった。職員給与費対医業収益比率は目標の50%以下を上回ったため、業務の効率化や医業収益の更なる増収を目指していく。 <p>【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】 単位:%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>100.5</td> <td>100.7</td> <td>102.0</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>51.5</td> <td>51.7</td> <td>51.0</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	H29	経常収支	100.5	100.7	102.0	職員給与費	51.5	51.7	51.0	Ⅳ		<p>経常収支のさらなる改善は評価できる。</p>																				
区分\年度	H27	H28	H29																																		
経常収支	100.5	100.7	102.0																																		
職員給与費	51.5	51.7	51.0																																		